

地域教育懇談会だより

郡山市教育委員会
平成30年11月14日(水)

久留米地区「地域教育懇談会」を開催しました



小野義明 教育長

久留米地区「地域教育懇談会」を10月23日(火)午後7時から久留米地域公民館で開催しました。郡山第一中学校、郡山第三中学校、郡山第七中学校、柴宮小学校、桜小学校、柴宮幼稚園、菜の花保育園、木の実保育園の保護者や教職員、地域の皆様など、約80名の参加がありました。前半は小野義明教育長をはじめ、教育委員会事務局職員が、本市の教育施策について説明しました。後半は7つのグループに分かれて共通テーマについて具体的な協議を行いました。

【共通テーマ】

各課、各センターにおける教育施策の説明

学校教育推進課

小中一貫教育の推進、授業の改善と確かな学力の育成、特色ある教育活動の推進、地域との連携等

学校管理課

体力向上推進構想による取組、学校給食・食育の充実、学校体育指導者研修の実施、学校体育大会の充実等

教育研修センター

専門性の向上と今日的な課題への対応に向けた教員研修の推進、ICT教育の充実、情報モラル教育の充実等

総合教育支援センター

学校不適応児童生徒への個別対応、スクールカウンセラーの配置、インクルーシブ教育システムの充実等

グループ協議

「子どもの安全・安心に向けた学校・家庭・地域の連携」

後半のグループ協議では、参加者全員が7グループに分かれ、共通テーマ「子どもの安全・安心に向けた学校・家庭・地域の連携」のもと、様々な立場、視点から活発な意見交換がなされました。

各グループでの主な協議内容

～参考となる取組や意見が数多く出されました～

Aグループ スマートフォンの問題、地域の防犯等について

Bグループ スマートフォンの使用、学校外の交友関係等について

Cグループ 登下校時の安全確保、情報伝達システムの構築等について

Dグループ 自転車の乗り方、地域や家庭での通学時の安全確保について

Eグループ 子どもたちとの関わり方、地域での子どもの安全について

Fグループ 登下校の安全、スマートフォンの使い方やフィルタリングについて

Gグループ 交通安全を中心とした安心安全について

参考となる取組や意見がたくさん出されました

<交通安全について>

- ・中学生が友達と話しながら横に広がって歩いたり、自転車が歩行者と一緒にフラフラ走行したりして危険である。ボランティアも含めて大人がその場に立つことで改善されている。
- ・歩道橋があることによるデメリットがある。接触事故が起きやすく、特に冬季はすべりやすい。横断歩道と併用することで、より安全に使用させたい。
- ・グリーンベルト、カーブミラー等の設置は要望を続けて、少しずつ改善されてきている。

<携帯・スマートフォンについて>

- ・スマートフォンについて、フィルタリングをかけていないことが多い。家庭での使い方の約束を決めるとともに、フィルタリングについて徹底するように家庭や学校で呼びかけていきたい。
- ・使わざるを得ない時代になっているので、使い方をどう教えるか、どういうルールで使わせるかが課題である。子どもは未熟なので、大人がどう関わっていくかが大事である。

<健全育成について>

- ・子どもたちの規範意識は高くなっている。中高生がたむろしている様子はほとんど見られなくなった。
- ・挨拶をする子もいない子もいるが顔を知っていれば声をかけるようにしている。地域の子とも触れ合う機会をもっと増やしたい。
- ・夜間パトロールを地域、学校と連携して行うことで、子どもの安全が守られるのではないか。

みなさんの意見交換から出されたキーワードは「関わり」です。地域・家庭・学校がお互いに連携しながら子どもたちに関わっていくことが大事だと感じました。



グループ協議の様子